

The Dementia Assessment Sheet for Community-based Integrated Care System-21 items (DASC-21)

記入日 年 月 日

ご本人の氏名:		生年月日: 年 月 日 (歳)				男・女	独居・同居
本人以外の情報提供者氏名:		(本人との関係:)		記入者氏名:		(所属・職種:)	
		1点	2点	3点	4点	評価項目	備考欄
A	もの忘れが多いと感じますか	1. 感じない	2. 少し感じる	3. 感じる	4. とても感じる	導入の質問 (採点せず)	
B	1年前と比べて、もの忘れが増えたと感じますか	1. 感じない	2. 少し感じる	3. 感じる	4. とても感じる		
1	財布や鍵など、物を置いた場所がわからなくなることがありますか	1. まったくない	2. ときどきある	3. 頻繁にある	4. いつもそうだ	記憶	近時記憶
2	5分前に聞いた話を思い出せないことがありますか	1. まったくない	2. ときどきある	3. 頻繁にある	4. いつもそうだ		遠隔記憶
3	自分の生年月日がわからなくなることがありますか	1. まったくない	2. ときどきある	3. 頻繁にある	4. いつもそうだ		
4	今日が何月何日かわからないときがありますか	1. まったくない	2. ときどきある	3. 頻繁にある	4. いつもそうだ	見当識	時間
5	自分のいる場所がどこかわからなくなことはありますか	1. まったくない	2. ときどきある	3. 頻繁にある	4. いつもそうだ		場所
6	道に迷って家に帰ってこられなくなことはありますか	1. まったくない	2. ときどきある	3. 頻繁にある	4. いつもそうだ		道順
7	電気やガスや水道が止まってしまったときに、自分で適切に対処できますか	1. 問題なくできる	2. だいたいできる	3. あまりできない	4. まったくできない	問題解決 判断力	問題解決
8	一日の計画を自分で立てることが出来ますか	1. 問題なくできる	2. だいたいできる	3. あまりできない	4. まったくできない		社会的判断力
9	季節や状況に合った服を自分で選ぶことができますか	1. 問題なくできる	2. だいたいできる	3. あまりできない	4. まったくできない		
10	一人で買い物はできますか	1. 問題なくできる	2. だいたいできる	3. あまりできない	4. まったくできない	家庭外の IADL	買い物
11	バスや電車、自家用車などを使って一人で外出できますか	1. 問題なくできる	2. だいたいできる	3. あまりできない	4. まったくできない		交通機関
12	貯金の出し入れや、家賃や公共料金の支払いは一人でできますか	1. 問題なくできる	2. だいたいできる	3. あまりできない	4. まったくできない		金銭管理
13	電話をかけることができますか	1. 問題なくできる	2. だいたいできる	3. あまりできない	4. まったくできない	家庭内の IADL	電話
14	自分で食事の準備はできますか	1. 問題なくできる	2. だいたいできる	3. あまりできない	4. まったくできない		食事の準備
15	自分で、薬を決まった時間に決まった分量を飲むことはできますか	1. 問題なくできる	2. だいたいできる	3. あまりできない	4. まったくできない		服薬管理
16	入浴は一人でできますか	1. 問題なくできる	2. 見守りや声がけを要する	3. 一部介助を要する	4. 全介助を要する	身体的 ADL ①	入浴
17	着替えは一人でできますか	1. 問題なくできる	2. 見守りや声がけを要する	3. 一部介助を要する	4. 全介助を要する		着替え
18	トイレは一人でできますか	1. 問題なくできる	2. 見守りや声がけを要する	3. 一部介助を要する	4. 全介助を要する		排泄
19	身だしなみを整えることは一人でできますか	1. 問題なくできる	2. 見守りや声がけを要する	3. 一部介助を要する	4. 全介助を要する	身体的 ADL ②	整容
20	食事は一人でできますか	1. 問題なくできる	2. 見守りや声がけを要する	3. 一部介助を要する	4. 全介助を要する		食事
21	家のなかでの移動は一人でできますか	1. 問題なくできる	2. 見守りや声がけを要する	3. 一部介助を要する	4. 全介助を要する		移動

DASC 21:(1~21項目までの)合計点

点/84点



DASC-21の合計点が31点以上の場合は「認知症の可能性あり」と判定する

改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R)

1	お歳はいくつですか？（2年までの誤差は正解）		0 1										
2	今日は何年何月何日ですか？ 何曜日ですか？（年月日、曜日が正解でそれぞれ1点ずつ）	年 月 日 曜日	0 1 0 1 0 1 0 1										
3	私たちがいまいるところはどこですか？ （自発的にできれば2点、5秒おいて家ですか？病院ですか？施設ですか？のなかから正しい選択をすれば1点）		0 1 2										
4	これから言う3つの言葉を言ってみてください。あとでまた聞きますのでよく覚えておいてください。（以下の系列のいずれか1つで、採用した系列に○印をつけておく） 1: a) 桜 b) 猫 c) 電車、 2: a) 梅 b) 犬 c) 自動車		0 1 0 1 0 1										
5	100から7を順番に引いてください。 （100-7は？、それからまた7を引くと？と質問する。最初の答えが不正解の場合、打ち切る）	(93) (86)	0 1 0 1										
6	私がこれから言う数字を逆から言ってください。 （6-8-2、3-5-2-9を逆に言ってもらい、3桁逆唱に失敗したら、打ち切る）	2-8-6 9-2-5-3	0 1 0 1										
7	先ほど覚えてもらった言葉をもう一度言ってみてください。 （自発的に回答があれば各2点、もし回答がない場合以下のヒントを与え正解であれば1点） a) 植物 b) 動物 c) 乗り物		a: 0 1 2 b: 0 1 2 c: 0 1 2										
8	これから5つの品物を見せます。それを隠しますのでなにがあったか言ってください。（時計、鍵、タバコ、ペン、硬貨など必ず相互に無関係なもの）		0 1 2 3 4 5										
9	知っている野菜の名前をできるだけ多く言ってください。 （答えた野菜の名前を右欄に記入する。途中で詰まり、約10秒間待っても出ない場合にはそこで打ち切る） 0~5=0点, 6=1点, 7=2点, 8=3点, 9=4点, 10=5点	<table border="1"> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>											0 1 2 3 4 5
合計得点													

30点満点中20点以下は認知症の疑いあり。

（出典：加藤伸司ほか：老年精神医学雑誌 1991; 2: 1339.より

<http://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=aj2rsizd/1991/000211/009&name=1339-1347&UserID=133.1.67.184>）

ミニメンタルステート検査 Mini-Mental State Examination (MMSE)

(チェック日 年 月 日)

次の11つの質問に答えてもらい、点数に丸をつけましょう。

質問と注意点		チェック欄		
1 時間の 見当識に ついての 質問	「今日は何日ですか。」	日	0	1
	「今年は何年ですか。」	年	0	1
	「今の季節は何ですか。」		0	1
	「今日は何曜日ですか。」	曜日	0	1
	「今月は何月ですか。」	月	0	1
	(最初の質問で、回答に複数の項目が含まれていてもよい。 その場合は該当する項目の質問を省く) 配点／各質問で正解1点、不正解0点			
2 場所の 見当識に ついての 質問	「ここは都道府県でいうと何ですか。」		0	1
	「ここは何市(町・村・区など)ですか。」		0	1
	「ここはどこですか。」		0	1
	(※回答が地名の場合、「この施設の名前は何ですか」と 質問を変える。正答は建物名のみ)		0	1
	「ここは何階ですか。」	階	0	1
	「ここは何地方ですか。」		0	1
	配点／各質問で正解1点、不正解0点			
3 即時想起 についての 質問	「今から私がいう言葉を繰り返し言ってください。 『さくら、ねこ、電車』。はい、どうぞ。」 (質問をする人は、3つの言葉を1秒に1つずつ話す。その後 回答者に繰り返しもらい、この時点でいくつ答えたかで点数をつける) 配点／各回答で正解1点、不正解0点		0	1
	「今の言葉は後で聞くので覚えておいてください。」 (上記の3つの言葉は、質問5で再び復唱してもらうので、3つ全部答えられ なかった場合は全部答えられるようにまで繰り返す。※ただし6回まで)		2	3
4 計算に ついての 質問	「100から順番に7を繰り返し引いてください。」 (5回繰り返し7を引く。正答例／93、86、79、72、65) 配点／各回答で正解1点、不正解0点	0	1	2
		3	4	5
5 遅延再生 についての 質問	「さっき私が言った3つの言葉は何でしたか。」 (質問3で提示した言葉を再度復唱してもらう) 配点／各回答で正解1点、不正解0点		0	1
			2	3
6 物品呼称 についての 質問	(ものを見せながら質問する) 「これは何ですか。」(時計または鍵を見せながら) 「これは何ですか。」(鉛筆を見せながら) 配点／各回答で正解1点、不正解0点	0	1	2
7 文の復唱 についての 質問	(回答者に文章を復唱してもらう。口頭でゆっくりはっきりと伝え、 繰り返ししてもらう) 「今から私が言う文を覚えて繰り返し言ってください。 『みんなで力を合わせて綱を引きます』」 配点／1回で正確に答えられた場合のみ1点。不正解なら0点		0	1

ミニメンタルステート検査続き

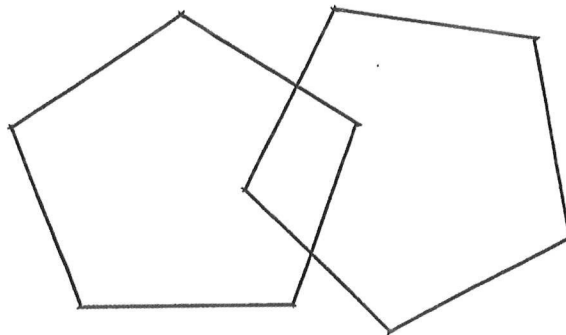
質問と注意点		チェック欄	
8 口答指示 による 質問	(机に紙を置き指示を伝えます) 「今から私の言う通りにしてください。」 右手にこの紙をもってください。 それを半分に折りたたんでください。 そしてその紙を私にください。」 配点／持つ・折りたたむ・渡すの各作業ができれば、それぞれ1点　できない作業は0点	0	1
		2	3
9 書字指示 による 質問	(紙に書いてある文章「目を閉じてください」を読んでもらい、その通りに行動してもらう) 「この文を読んで、この通りにしてください。」 配点／音読・黙読の反応どちらでも可。 実際に目を閉じたら1点。できない場合は0点	※次ページに 質問の内容 あり	0 1
10 自発書字	(紙を用意し文章を書いてもらう。例文は用いない。) 「この部分に何か文章を書いてください。」 どんな文章でもかまいません」 配点／意味のある文章、状態などを示す四字熟語が書けたら1点 名詞のみは誤答として0点　書けない場合も0点	※次ページに 質問の内容 あり	0 1
11 図形模写	(異なる2つの五角形が交差した図が書かれている用紙を準備し、回答者に渡す) 「この図形を正確にそのまま書き写してください。」 配点／2つの五角形が交差した図が書けていれば1点 (ふるえなどはかまわない) 書けない場合や六角形を書いた場合は誤答で0点	※次ページに 質問の内容 あり	0 1
		合計得点	
計算方法／問1～11で得た点数を合計する。 判定の仕方／ 27～30点…異常なし 22～26点…軽度認知症の疑い 21点以下…どちらかという認知症の疑いが強い			

9.「この文を読んで、この通りにしてください。」

め と
『目を閉じてください』

10.「この部分に何か文章を書いてください。どんな文章でもかまいません」

11.「この図形を正確にそのまま書き写してください」



◇治療の流れ

①認知症の非薬物療法 「かかりつけ医が認知症・MC I を診る」

認知症の非薬物療法は重要です。認知症者の生活機能障害の程度を評価し、介護保険の申請を勧め、その利用を促します。認知症者の意思が重視され尊重されねばなりません。併せて、疾患の理解、障害の知識と対処法などを介護者に教えることも必要です。

認知症高齢者に対するメンタルヘルスの原則

1. 認知症高齢者の態度や言語を受容し理解する
2. なじみの良い人間関係をつくる
3. 認知症高齢者の心のペース(思い、感情)に合わせる
4. 理屈による説得より、気持ちが通じる共感的な納得を図る
5. 良い刺激を絶えず与える
6. 隠された能力を発揮させる
7. 孤独にしない、安易に寝たきりにしない
8. 急激な環境変化を避ける

認知症リハビリテーション

1. 神経心理療法
 - (1) 現実見当識訓練
 - (2) 回想療法
 - (3) 音楽療法
 - (4) 短期集中リハビリテーション・通所リハビリテーション
 - (5) 入院デイケア
 - (6) その他 絵画、園芸、ペット、レクリエーション、アロマセラピー、囲碁、将棋、健康麻雀
2. 理学療法、作業療法、言語療法、摂食嚥下療法

②認知症の薬物療法

「内科 Vol.123 No.6, 2019 認知症診療 Update」・「かかりつけ医が認知症・MC I を診る」

アルツハイマー型認知症の薬物療法

OChEI (コリンエステラーゼ阻害薬) のドネペジル(アリセプト)、ガランタミン(レミニール)、リバスチグミン(リバスタッチパッチ・イクセロンパッチ)と NMDA (受容体拮抗薬) のメマンチン(メマリー)

- ①軽 度：ChEI のいずれか 1 剤を選択する。ほかの ChEI に変更は可
- ②中等度：ChEI の 1 剤か、メマンチンを選択する。両者の併用も考慮する
- ③重 度：ドネペジル 5～10 mg あるいはメマンチン、両者の併用も考慮する

○特徴として、服薬アドヒアランス、薬剤の適応症を確認し、患者・介護者に十分な説明を行います。ChEI は抑うつ状態やアパシーに治療効果があります。一方、副作用として易怒性や攻撃性など、BPSD と同様の行動症状を呈することがあります。ドネペジルの頻度の高い副作用は、嘔吐・下痢などの消化器症状、メマンチンの頻度の高い副作用は、傾眠、めまいです。